

～リハビリ通信～



現在、『小グループでの外出プログラム』に取り組んでいます。2月と3月は公共交通機関を利用して、近隣のショッピングモールに行きました。久しぶりに外出をされる方も多く、「楽しかった」、「また、行きたい」、「違う場所にも行ってみたい」、「衣類や日用品の値段が安くてびっくりした」などの感想が聞かれました。

『外出』という身近な社会参加を通じて、地域の様々な情報を得ることが出来るため、最近では参加メンバーの会話の中で「地域に関する話題」も増えてきました。今後が楽しみなプログラムとなっています。



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 704

TEL:0493-56-3191 / FAX:0493-56-4831

昭友会ホームページ: <http://www.kokoro.or.jp>

もりのたより



診療報酬改定を受けて

平成24年度診療報酬改定は、平成23年6月政府・与党社会保障改革検討本部『社会保障・税一体改革成案』で示した2025年の医療・介護機能強化のイメージに向けて、あるべき医療の実現の第一歩の改定と位置付けられています。2025年の医療・介護機能強化のイメージとは、医療機関の機能の明確化と連携の強化、医療機関と在宅・介護施設との連携強化、医療提供体制の効率化等が挙げられます。

今回の改定は、その第一歩として、2つの重点課題を掲げています。1つは急性期医療における病院勤務医及び医療従事者の負担軽減です。これは急性期医療がより効果的に機能を果たすためそれに係る人的体制の補完を目的とします。2つめは、医療・介護の役割分担の明確化と地域における連携体制の強化及び在宅医療等の充実です。医療機関等の連携による緊急往診や看取り、歯科訪問診療・訪問看護等が挙げられます。その他には、がん医療・精神科疾患・認知症対策、医療安全対策や最新医療を遅滞なく国民皆が受けられるよう医療技術の進歩の促進と導入を掲げています。

精神科領域では、平成16年に提唱された「精神保健医療福祉改革ビジョン」以来、社会復帰の推進と在宅医療の充実に向けた一連の取り組みが求められてまいりました。また、平成23年7月に社会保障審議会・医療部会において、医療計画に定める「4疾病5事業」に新たに精神科疾患を加えた「5疾病5事業」とする方針が決定されました。今回の診療報酬改定では、各医療機関の機能分化や連携の強化と在宅医療の充実をより明確に謳った改定がなされました。

当院では、近隣市町村役場関係をはじめ地域の医療機関・介護施設と連携を図りながら、精神科疾患の患者様の受け入れや社会復帰支援、認知症を含む高齢者の精神科疾患への取り組みを中心に活動してまいりました。今回の改定を踏まえ、関係先とのより一層の連携を深め、培ってきた機能や医療技術を強化しつつ、将来に向けた取り組みを視野に入れ、地域の皆様に愛され必要とされる医療機関を目指してまいります。

埼玉森林病院 事務長 井田保則

お知らせ



○診療報酬の改定

本年4月1日に診療報酬が改定されました。診療行為や処方内容が同じでも3月までと4月からでは点数が増減することがあります。また、新設された項目もあります。ご不明な点は、医事課までお問い合わせください。

○春からの行事予定

- 5月 ソフトボール大会／ボランティアコンサート
- 6月 夏祭り
- 衣料品販売
- 自衛消防訓練



マガジンラック

○マガジンラックの設置

当院新館にマガジンラックを新たに設置しました。どうぞご利用ください。

うきうき編集後記

桜が咲き始める時期になりました。入学式や新入職など新しい事が始まるドキドキした時期だと思います。申し遅れましたが、今回から広報委員に任命された看護師の柳です。広報誌を作るのは初めてで緊張感を持っていますが、何事にも新しい気持ちを持って取り組んでいきたいと思っています。

これからもどうぞよろしくお願ひします。

看護師 柳 弘一